

主義ヲ標語ヲパンキニテ塗書セシカ米領事ノ抗議ニ依リ本日  
右落書ヲ洗除セリト(領事館報)

四發電

竹善第十一番電(二十八日竹)汕頭情報(宛馬要司令官)

一引續キ平穩ニシテ邦人外出モ危險ヲ認メス

二抗日會モ先般委員改選後ニ三回會合セシ模様ナルモ今迄處  
何等積極的活動ヲ見ス

三月二十九日(火)正午天候曇氣圧七六七ニ氣温一九。風向東風力三米

一四〇〇 艦長領事館訪問

二訓練作業 郵置教育 魚雷發射準備

三在泊艦船 前日二回シ

四情況

(4)汕頭各界抗日救國會ハ當分ノ間該界委員會ヲ外馬路永平

里新編門牌六號工界抗日救國會内ニ設クルコトニセリト

(4)福建第四十九師ハ今回香港ヨリ交通用飛行機一台ヲ購求シ不

日美人飛行士操縦當地經由厦門回航ノ旨當地紛靖公署ニ入

電アリシト(汕報報)

(5)黃花崗七十二烈士殉國部念大會ハ本日午前十時外馬路青天

戲院ニ於テ開カレ軍部代表市政代表公安局長等ヲ初メトシテ

一般參列者五六百人主トシテ革命抗日ニ關スル標語ヲ掲ケ開會

一時間半ニテ散會セリト 市内情況変化ナシ

三月二十日(水) 正午天候曇氣圧七六八。氣温一八。風向東風力二米  
一〇〇〇 米驅 *Smith Thompson* (三三三)ヨリ明日驅ニ入港旨通報、為訪問  
使來艦

ニ 訓練作業 砲員檢定 船体兵器午入 真雷發射準備

三 在泊艦船 前日二回シ

四 情況

市内平穩

三月二十日(木) 正午天候曇氣圧七七〇。氣温一八。風向東風力二米

一〇九二五 米驅 *Smith Thompson* (三三三)入港訪問使交換

一四一五 艦長領事館訪問

ニ 訓練作業 船体兵器午入 真雷發射準備

三 在泊艦船 梨竹英艦 *Smith Thompson* (三三三) *Smith Thompson* (三三三)

四 情況

市内情況変化ナシ

四月一日(金) 正午天候晴氣圧七六九。氣温一八。風向東 風力一米

一〇七〇〇 米驅 *Smith Thompson* (三三三)出港

一〇〇〇 艦長米驅 *Smith Thompson* (三三三)訪問

一三三〇 竹鋪地変更(鋪出 日本領事館、旗竿、南十度西七百三十米)

一四三〇 米驅 *Smith Thompson* (三三三)ヨリ司令、艦長來訪

二訓練作業 被服洗濯 船体兵器手入 魚雷發射準備  
 三在泊艦船 梨竹、英駝 Smith, Thompson (三三三)  
 四情況

(1) 市内情況 変化ナシ  
 (2) 本日李揚敬ハ第三軍訓政處主任ヲ伴ヒ潮州ニ赴ケリト  
 (3) 本日汕頭市黨部、新委員七名(吳梓芳、翟宗必、余祖明、李超凡、李照楸、方瑞麟、蘇民望)就職ニ直ケテ第一次會議ヲ開キ余祖明ヲ各界擁日救國會指導員ニ推ス事ヲ決議セリト

五着雷

馬要機密第一番雷 四月一日午前十時三十分(發馬要司令官)  
 一 菱、葦ハ四日發菱ハ汕頭ニ葦ハ厦門ニ回航敬言飾ニ任スヘシ  
 二 葦ハ六日厦門發馬公ニ歸港スヘシ  
 三 梨ハ二日竹ハ六日汕頭發馬公ニ歸港スヘシ  
 四月二日(土)正午天候晴氣圧七六六。氣温二〇。風力〇  
 一四〇〇 艦長領事館訪問

一六三〇 梨馬公ニ向ケ出港  
 二訓練作業 大掃除防火教練 船体兵器手入  
 三在泊艦船 竹、英駝 Smith, Thompson (三三三)  
 四情況

(1) 市内情况变化ナシ

(2) 黄市長三月十三日赴粵以來諸種ノ風聞アリ一説ニ廣東捲烟  
統稅局長麥其其後任タルヘク麦ハ廣東人ニテ陳濟棠トハ  
特別懇意ノ間柄ニアリ固下極力就任運動中ナリトモ傳ヘラル

四月三日(日)正午天候曇氣圧七六五。氣温二三。風力。

一〇八四五 遙程式(神武天皇祭)式後艦長講話

一三一五 艦長領事館訪問市内情况視察

二訓練作業 半舷陸上運動休業

三在泊艦船 竹英驅込み(10ヶ)米驅 Smith Thompson (11)

四情况

市内情况变化ナシ

四月四日(月)正午天候晴氣圧七六三。氣温二三。風力。

一一二〇 総員相撲競技實施(領事館土俵場)

一二三〇 艦長領事館訪問

二訓練作業 陸戰隊教練(五附及配置教育)船体兵器予入

三在泊艦船 前日ニ同シ

四情况

市内平穩

四月五日(火)正午天候曇氣圧七六一。氣温三五。風力。

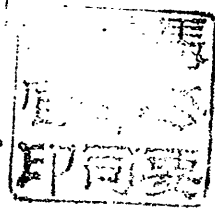
一〇六三〇 米驅 Smith Thompson (11)出港

- 二〇〇 区菱入港
- 二 訓練作業 船体兵器等入
- 三 在泊艦船 区菱竹 英駆 (D八七)
- 四 情况
- ① 第七師ノ演説隊員ハ昨夜市内小公園ニ於テ約一時間半ニ亘リ題目宣傳ニ関スル演説ヲ行ヒタル由
- ② 李揚敬ハ地方巡視ノ目的ヲ以テ昨日梅縣ニ赴ケリト
- ③ 市内情况 変化ナシ

(終)

馬要機密第六ノ一ノ

五



五月六日進達

副官

第二十五驅逐隊梨汕頭警備報告

軍務局



第二十五驅逐隊

副官



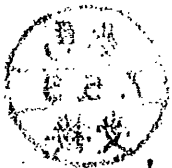
自昭和七年四月十八日  
至四月二十日

五月廿九日



1990

目次  
一、 警備命令  
二、 警備日誌  
三、 一般情況



## 一、警備命令

四月十四日馬公要港部司令官ヨリ左ノ命令ヲ受領ス  
馬要機密二十六番電十四日午後五時

一、第二十五驅逐隊ハ末ル十七日高雄發左記配備ニ依  
リ警備ニ任スヘシ

(一) 樵ハ福州

(二) 竹ハ廈門

(三) 梨ハ汕頭

二北上及第二十七驅逐隊ハ末ル二十日各警備地發馬公  
ニ歸港スベシ



二 警備日誌

月日	曜 所行動	記 事
四 九	火 汕頭	<p>(一) 〇七三。廣東丸入港 一五〇。合 右出港</p>
四 八	月 汕頭着	<p>(一) 正午天候曇氣圧七六八三氣温二二風向北 風力四 一四〇。入港双錨泊 一五〇。領事代理来訪 一三三。合 退艦 一四〇。嵩山丸出港 一七〇。鳳山丸出港</p> <p>(二) 訓練作業 入港作業船小兵器機關午入 正午天候曇氣圧七六七四氣温二三風向 〇七三。廣東丸入港 一五〇。合 右出港</p>

	<p>一四。艦長領事館訪問</p> <p>(二) 訓練作業 被服洗濯 船体兵器機関等入</p> <p>正午天候曇 气压七六七 氣温二七 風向北 風力一</p> <p>(一) 一三三。莫潜水艦オシリス、オリンパス、ペルセウス入港</p> <p>一六〇。艦長領事館訪問</p> <p>一八三。領事館御宴、真並小學校勅語ヲ讀ミ梨ニ奉杓ス</p> <p>(二) 訓練作業 配四道教育船体兵器機関等入</p>
<p>四。水函頭</p>	<p>(三) 在泊外国軍艦</p> <p>莫潜 オシリス、オリンパス、ペルセウス</p> <p>(四) 受信</p> <p>發馬要司令官 馬要校表第三七番電</p> <p>馬要機密第二十六番電ニ依ル第三七號逐隊ノ馬公</p> <p>歸港ヲ暫ク見合ハス</p>

		四二木頭 四二木頭 四二木頭	正午天候曇 気圧七六七・八 気温二五・五 風向東 風力二 一八三。董出港 (二) 訓練作業 配置教育補習教育機関未入 (三) 在泊外國艦船 英艦 オシリスオリンパスベルセ (四) 發信 宛嵯峨艦長 梨機表第六十一番電 本艦四月二十七日汕頭發賣地回航豫是幸補給先手配糧公 (五) 受信 發馬要司令官 北上歸着二十一日 發馬要司令官 馬東按察第四十八番電 一董八本日汕頭發厦門ニ回航スヘシ 二竹八二二日厦門發馬公ニ歸港スヘシ 正午天候半晴 気圧七六五・三 気温二六 風向東北 風力一

<p>四三全 函頭</p> <p>四 受信</p> <p>發竹艦長馬公ニ向ケ肩門發二十日午前零時</p> <p>發馬要司令官馬要著電五ハ竹歸着至日</p> <p>發董艦長 董厦門着二十日午前七時</p> <p>正午天候晴 気圧七六二五 気温二六五 風向南西 用力ハ</p> <p>一〇〇〇 艦長米驅二一二訪問</p>	<p>四三全 函頭</p> <p>一〇九〇 米驅二一二(スミストンプソン)入港訪問使へ換</p> <p>一四〇〇 地厘丸入港</p> <p>一五〇〇 艦長領事館訪問</p> <p>一五三〇 地厘丸出港</p> <p>訓練作業 船体兵器機關午入</p> <p>在泊外國艦船 莫藩オリスオリンパムセルス</p> <p>米驅 二一二(スミストンプソン)</p>

(二) 訓練作業 被服洗濯大掃除防火教練

船体機関午入

(三) 在泊外國艦船 英潛オシリス、オリンパス、ベルセウス

米驅二一二

(四) 發信

宛馬要司令官 梨機卷第六十三番電二十三日午後一時  
二十七日午後四時弘頭發二十七日午後五時東着ノ豫定

宛岷峨艦長 梨機卷第六十四番電二十七日午後一時  
本艦二十七日午後四時弘頭發二十七日十時十時グリーン

アイランニ着正午頃合地發午後六時半東着豫定  
右豫定ニテ大石ハ一通通支障ナキヤ浦江ニ確カラズニ

(五) 受信

發馬要司令官 馬米機卷第四十五番電二十七日十時

四三  
土  
弘頭

1

十時

一馬要機各第三十一番電ヲ發ス

二竹八二五日發汕頭ニ回航警備ニ任スヘシ

三梨八二七日汕頭發廣東ニ回航警備ニ任スヘシ

四嶺越八五月三日廣東發馬公ニ歸港スヘシ

艦長ハ行動ヲ豫定シ報告スヘシ

發馬要機各第四十八番電ヲ午後二時

宛嶺越艦長梨八二八日午後廣東着ノ豫定ヲ

江水先人ヲ備置カレタリ

正午天候半晴氣圧七六・三氣温二八  
風向北西  
風力五

一三三〇 英潛才シリス出港

一四二〇 艦長領事館訪問

二 訓練作業

四  
日  
弘  
頭

勅諭下賜五十年祝賀紀念式勅諭奉讀艦長  
講話休業

(三) 在泊外國艦船

莫 藩 オリンパス  
ベルセウス

米 驅 二一二

(四) 發信

宛馬要司令官軍令部長 莫國藩米艦オリス本日午  
後當地發二十四日

(五) 受信

發馬要司令官馬要機密第四九番電二十四日午前  
八時三十分

北六二十四日夜出港廈門ニ而航同地ノ警備ニ  
任スベシ

發馬要番弟五十八番電北六廈門ニ向テ發テ而テ夜時

四五  
月  
汕頭

正午天候曇氣圧七七一四氣温三一風向北東  
力一七  
一〇七〇〇 錨地ヲ變更ス

錨位 日本領事館横竿ノ南ニ七度西八〇米

一〇〇 嵩山丸入港

一四〇 廣東丸入港

一四三〇 莫瑞オリンパスヘルセウス出港

一五一〇 米驅二二司令艦長答訪

一五二〇 廣東丸出港

(二) 訓練作業 錨地變更 船体兵器機關等入

(三) 在泊外國艦船 米驅二一二

(四) 發信 宛馬要司令官、軍令部長

本日午後英國潜水艦二隻(オリンパス)出港二十五日

(五) 受信



四  
三  
月  
汕  
頭

發北上艦長 午前八時廈門着二十五日  
發馬要司令官 馬要善 弟六十番電  
竹汕頭ニ向ケ發 二十五日

發馬要參謀長 馬要機 弟五十番電 弟八時  
北岡機 弟三十番電 弟世甲カシ出次弟モアリ此  
際特ニ警戒ヲ嚴ニ在 留民ノ言動ニ依リ事端  
ヲ惹起スルガ如キ事 十時 機特ニ留意アリ度  
宛北上艦長

正午天候晴氣圧七六八氣温二三 風向北東 風力三

(一) 〇六〇〇 嵩山丸出港

〇七三〇 鳳山丸入港

〇九一五 竹入港

一三四〇 艦長領事館訪問

四二六  
火  
頭

一六二。風山丸出港

三 訓練作業 外舷塗粧 船体兵器機關等入

三 在泊外國艦船

米 驅 二 一 二

四 受信

發馬要參謀長

馬要機務第五十六番電二十六日午後五時十分

廣東河上下ノ艦船出港ノ際特ニ邦人水先人ヲ雇

傭ニ水路ノ探究ニ努メラレ度ニ

三、一般情況  
一、排日狀況

其後間々邦人ニ對シ投石惡口等ヲナスモノアルモ一般ニ市内極メテ平穩ニシテ何等變化ヲ認メス。抗日救國第十次會議開催サレタルモ主トシテ會務ニ關スルモノニシテ排日ノ具體的事項ニ觸レズ

日貨檢査會 去ル十五日臨時會議ニテ決定セル日貨再檢査ハ二十五日迄引続行フ豫定ナリシモ中堅ナル學生ノ不参加ニヨリ十六日一回實施セルノミナリ。新救國會ハ去ル三月二十日建設セラレシモノニシテ日貨ノ檢査ハ旧救國會ノ檢査登記表ト比較對照シ封鎖日貨ノ符合ノト無ク公開セントスルモノニシテ前登記表ハ旧救國會委員若原割天之ヲ機匿シ商人ヨリ竊ニ幾十元ノ賄賂ヲ取リツツアリト云フ

軍隊ノ異動  
最近厦門方面共匪ニ備ル為軍隊ノ異動頻々トシテ行ハレ第ニ軍(師)ハ漸次福建ニ赴キツツアリ。共匪討伐ニ結名シテ福建ヲモセントスル陳清ノ下心ナリトモ視ラレ。當市内第七師ノ約半数モ北方ニ赴キツツアリテ獨立第二師内ハ孤頭駐防ヲラントノ説ヲナスモノアリ

三 市内警備戒

共産分子 對スル警備戒トシテ七師司令部附近ハ午後九時ヨリ翌朝迄口威嚴ヲシキ昼間ハ武装兵二十名ヨリ成ル巡查隊ヲシ市内ヲ巡視セシム夜間ハ探偵隊(最近課査隊ト改名)ノ公開賭場料理店旅館等ヲ検査アリテ時ニ不意打的ニ馬路三叉路等ニテ交通ヲ遮断シ路上臨檢ヲ行ヒツナリ

四 黃市長被毒事件

其後具體的ニ何等進展ヲ見ズ數日関東省政社民政視察員曾友文來汕シ讀職事件ノ内偵ヲ行ヒ最近廣東ニ歸リト云フ

(終)

馬要機密第六ノ一七號

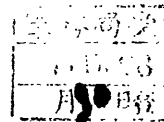
五月十七日進達

昭和七年五月

副官



官房



福州警備計畫

軍務局

第一課長 司員



驅逐艦艦

驅逐艦樞福州警備計畫

本計畫書ハ馬公要港部南支警備要務ニ準據  
 シ福州ニ於ケル警備ニ関シ定メタルモノニシテ  
 更ニ狀勢ニ依リ適宜取捨スルモノトス

各種特別警戒期ニ於ケル警戒實施要領  
 第一 警備實施要領

特別警戒	期間	艦内警戒	艦外警戒
一 見張員ニ名ヲ艦橋ニ配ス 二 畜直將校 畜直員 見張員及艦外ニ派遣スル短艇員ハ拳銃ヲ携帶セシム(空員彈十六發) 三 第一及第四兵員室ニ小銃彈藥一箇宛ヲ備フ		一 本艦ヨリ派遣スル連絡將校ニ連絡兵四名ヲ隨行セシム拳銃携帶 二 必要ニ應ジ特別陸戰隊ノ一部ヲ圓島ニ輸送待機セシム	

特別警戒第	第一
<p>一 艦内見張部署ニ就ク</p> <p>二 射撃準備ヲ完成シ</p> <p>三 十二種砲側ニ彈ヲ裝藥十二發分ヲ備ヘ尙</p> <p>四 彈藥補給準備ヲ完成ス</p> <p>五 即時待機ヲナス</p> <p>六 准士官以上航海當直</p> <p>七 ニテ警戒ス</p> <p>八 其他艦内諸準備</p>	<p>四 機銃側ニ彈藥筐一箱ヲ備フ</p> <p>五 實彈ニ信管ヲ裝著ス</p> <p>六 陸戰隊本發準備ヲ完成ス</p> <p>七 一時間待機トス</p> <p>八 探照燈真燈準備ヲ完成ス</p>
<p>一 特別陸戰隊員ヲ揚陸セシムル此際要スレバ圓島ハ揚陸機護ヲナス</p> <p>二 使用舟艇及上陸地ニ別表第一及第二ニ據ル</p> <p>三 居留民ヲ避難所ニ收容後陸戰隊ハ左ノ配備ニ就キ保護ニ任ス</p> <p>四 區分及兵力所 在</p>	

陸上通信 第二 通信連絡法

陸上電話 領事館大坂商船支店其他陸上各所間

視覚通信 (1) 手旗信號 發光信號 大坂商船支店見張 圓島間

(2) 探照燈信號 本艦圓島間

無線通信 (3) 短波通信及長波通信 本艦圓島間

特別警戒	戰艦内哨戒配備ヲ完成シ	第一期作業ニ準バ	本部	領事館
第三期	其他艦内諸準備	第二期作業ニ準ス	第一分隊	居留民會
第四期			第三分隊	台灣公會
			第四分隊	



(列表第一)

陸戰隊揚陸候補地

一、蒼前大坂商船棧橋

二、同右台湾銀行前

三、南台中州河岸

四、南台河岸

五、南台島下渡上陸場

六、共和大學下河岸



列表第三

陸戦隊揚陸又ハ避難民收容ニ利用シ得ベキ舟艇

短艇名稱	所屬	搭載員數	機械種類	速力	航続距離	部事
内火艇	本艦	二〇	内二汽機 六汽機	六節	四〇哩	糧食油 二〇立
ニカッター	本艦	各二〇				
神島	大坂商社	一〇〇	二汽機 二汽機	五節	一〇哩以上	石炭六噸
加	領事館	一五	石炭 汽機	六節		
スメリ	福壽洋行	二〇	同 右			
船		一八〇				六噸積
同		一八〇				七噸積
ハリスホート		各一〇〇				四隻

備考

一部外汽艇ハ操縦者支那人ナリ兵員ノ操縦ヲ要スルコトアルベシ  
ニハリスホートハ台湾公會ニテ準備ス

終

大正

馬要機密第 七 號

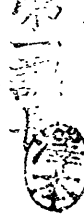
一〇一六

五月十七日進達

副官



軍務局

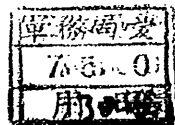


局長

第二十五驅逐隊(樞)福州敬言備報告

(自昭和七年四月二十日  
至五月十日)

官房受



2890

0081

目次

- 一、行動ニ關スル命令
- 二、一般情勢
- 三、警備日誌

自四月二十日 第二十五驅逐隊樞福州警備報告  
至五月十日

一 行動ニ関スル命令

(1) 昭和七年四月十四日機密馬公要港部命令第四七號

一 第二十五驅逐隊ハ來ル十七日高雄發左記配備ニ依リ

警備ニ任ズベシ

(2) 樞福州 (3) 竹厦門 (4) 梨汕頭

ニ北上及第二十七驅逐隊ハ來ル二十日各警備地發馬公

ニ歸港スベシ

(2) 昭和七年五月七日馬要機密第十六番電

一 菱八明八日發厦門經由馬尾ニ回航シ福州ノ警備ニ

任ズベシ

(3) 昭和七年五月九日馬要機密第十九番電

一 馬公防備隊司令ハ來ル十日馬尾發圖島ヲ歸港セシム

ベシ

ニ前項行動中圖島ハ第二十五驅逐隊司令ノ指揮ヲ受ク

ベシ

(4) 昭和七年五月十日馬要機密第二十一番電

樞ハ來ル十四日馬公發厦門汕頭ヲ經二十日迄ニ廣東ニ回

航スベシ

## 二一般状勢

警備期間内ニ上海爆弾事件共產黨ノ厦門侵入等アリシモ福州方面トシテハ平穩ニシテ大ナル事故ナク經過セリ、曩ニ南京出張中ナリシ方声濤ハ省首席委員トシテ着任、風聞アリシモ實現セズ四月下旬歸閩セリ又公安局長、水上公安局長、府秘書移動ノ噂アルモ未ダ確報ヲ得ズ或ハ風聞ニ止ルヤモ保スベカラズ、閩南方面ニ於ケル共產黨猖獗ノタメ當地方モ一時ハ相當憂慮動搖ヲ及ボサントシ馬尾海軍ノ大部分及多數ノ海軍陸戰隊、出動ヲ見タルモ其ノ後、進展ナカリシタメ小康ヲ得タリ然レ共國軍ノ移動ト其敗退及從來ヨリノ財政窮乏ノタメ省政府トシテハ財政困難ノ難局ニ直面中ナリ又西方崇安方面ニ於テモ其國軍ノ一部ヲ以テ山中、共匪ト敵料ヲ距テ對待中ナリト言フ二月西湖事件ノ解決、統領事ノ外交ニ涉及者政府當局ノ取締等ニ依リ福州方面ニ於ケル排日抗日等ノ事件追々緩和サレシモ尚潛行的策動ハ影ヲ絶タズ四月十七日支那綿布商人殺害或ハ大坂商船會社使用、支那苦力脅迫等ノ事件アリ其ノ都度商取引上ニ多少ノ影響ヲ認ム

對邦人直接行動ハ彼等モ自ラ戒メ居ルガ如シ尚今次圖

島ノ馬公ニ引キ揚ゲ直後ノ省黨部及排日團ノ行動ハ現  
 在、排日行動ノ傾向及將來ニ於ケル方針ヲ知ルニ於テ  
 考トナルベキモノニシテ注目ニ値スルモノト認ム

三警備日誌

四月二十日(水)正午天候晴 気圧七六・五 気温二六 風向東 風力一

一、在泊艦艇、動靜

。七五。 米艦 *Tulsa* 上海ニ向ケル

。八〇。 土上馬公ニ向ケル

。九五。 海籌 厦門ニ向ケル

。一〇。 永績 厦門ニ向ケル

二、在泊艦艇、極、逸仙、民生

三、訓練作業其、他 甄置教育、艇体兵器手入

四、情、況

(1) 大及商艇支在長、若ニ依レハ十七日、支那綿布商

人被害事件、為支那商人先シテ契約中、

日本商品ニ對シテモ受取方、延期シ申出ル者等アリ

り商取引大部中絶、状態トナレリト

(2) 昨十九日支那商人被害事件、起リタル家屋附

近ニ「救國青年会」、名ヲ以テ「被害綿布商人

ハ従来日本商品ヲ取扱ヒシヲ以テ要々反省シ災

シタルモ之ヲ肯セザルニ依リ第九条ニヨリ天誅ヲ

加ヘタルモノナリト云フ主旨、傳單ヲ貼布ニアリ

ト云フ

(3) 本日、當地新聞ハ公安局カ支那商人被害者ノ



逮捕ニ努カスル上旨ヲ掲テセリ  
 (二) 総領事談ニ依レハ本省政府ハ省南西部ニ於ケル猖獗ナル共産党ニ対シテ之カ対抗ニ派遣スヘキ軍隊ヲ軍費ノ欠乏ニ困惑セルモノ、如ク本日其ノ対策協議ヲ行フト

四月三日(木)正午天候曇気左七六七八気温二三五風向東風カ。一

一 在泊艦船、動静

一。英艦ロ六三(Venit)入港(艦長少佐 C.W. Hay)

二 在泊艦船、極、英艦ロ六三(Venit)鬼仙、民生

三 訓練作業其、他、砲置敷六月、艇体兵器手入

一。英艦ロ六三ト訪問使交換

四 情况

(4) 本日林知淵ハ総領事ヲ訪レ閩西南方面ニ於ケル共産軍及總布商殺害事件ニ関シ談スル所アリ其ノ内容次、如シ共産軍ニ関シテハ現在南京ニ在ル方聲傳ヲレテ中、共ニ対シテ対抗軍ニテ師、派遣方懇請セシムルト共ニ共産軍ト行動シ共ニセル孫連仲部隊、買収切崩方シ計リツツアリ又支那商人殺害事件ニ関シテハ極力搜索逮捕ニ努メツツアリ

六 發 電

(四) 當地有力者、言、依レハ殺害事件、加害者ハ既ニ判明セルモ、如クナルモ該加害者ニ對シテ黨部、支援アル急無カナル省政府、カシ以テシテハ如何トモスル能ハサルモ、如シ尙本事件、象因トシテハ日貨取扱商人、威嚇ヲ主トセルモノニシテ被害者ハ本年度初頭マテ抗日會、幹部トシテ活躍シ又一方日貨(主トシテ綿糸布)仲介業トシテ得タル益金(五六万弗ト云フ)ヲ同僚ニ其、部下ニ分配スルコト無カリシヲ以テ怨嗟反感、結果殺害セラルタルモ、ト抹セラル

(一) 本日午後、城內ニ於テ高義(日潭曙郷、新編第一軍、第一師々長)未福敵迎會アル由

樞普第一番電 福州情報(五日樞)(宛馮要司令官)

一 共產黨軍、漳州占領ニ依リ不安ヲ感シタル省政府ハ中央政府ニ對シニ師旅遣方懇請中

二 十七日日貨取引高殺害、為市内商人恐慌感ニ對日取引、一部停止セリ

三 在珣外國艦艇一隻支那砲艦二隻

四 市内平穩

四月二十二日(金) 正午天候曇 氣圧七六一、氣温二五、風向南風力一

一 在泊艦艇 〆 艦 英艦口六三、逸仙、民生

二 訓練作業其他 被服洗濯 艇体兵器手入

三四三。 英艦口六三ト指揮官訪問交換

三 情 况

市内情况 変化ナシ

四 發 受 信

四月二十三日(土) 正午天候晴 氣圧七六一、氣温二八、風向北西風力一

一 在泊艦艇 〆 艦 英艦口六三、逸仙、民生

二 訓練作業其他 大掃除 艇体兵器手入 半陸上運動

三 情 况

市内 平穩ニシテ 変化ナシ

四 發 受 信

四月二十四日(日) 正午天候曇 氣圧七六一、氣温二〇、風向北東風力四

一 在泊艦艇 〆 艦 英艦口六三、逸仙、民生

二 訓練作業其他 勅諭下賜五十週年記念祝賀式勅諭奉讀精神講

義半陸上運動 休業

〆 八四五 司令 統領 奉 館 訪問、夕メ出艦

一七三〇 司令 帶 艦

三 情 况

(総領事談)

- 一 省政府ハ共産軍ト孫連仲トヲ密聞スル為政府要人ヲ廈門ニ派遣セリ
- 又孫連仲買収、為中央政府ニ対シ資金調達方途勤申孫連仲ハ買収、可能、見込アリ
- 二 共産軍今次、目的ハ延建獲得ニアル由ニテ福州攻撃、事ハ萬ナカルヘキモ萬一其ノ行動ヲ起人ニ於テハ泉州獲得後興化ヲ攻略セハ形勢逼迫スヘク福建省トシテハ賊叛セル回下九師(張貞軍)以外ニハ五十六師アルノミニテ該部隊ハ西方江西省、巴境防衛示ニ從事中ニテ兵力、余祐皆無ナリ
- 三 劉殺人事件ニ關シ領事ハ民会、公会、代表者ト協議、結果目前ニ天長節及五月諸記念日ヲ控ユルヲ以テ一級支那人、排日感情、激發シ得タル為省政府ニ対スル一策、警告セシトスノミニテ消極的態度ニ止ムル方針ニ決定セリ

四 發電

樞普第ニ番電福州情報(二十四日樞)(宛馬要司令官)

一 省政府ハ共産軍ト孫連仲トヲ密聞スル為政府要人ヲ廈門ニ派遣セリ又孫連仲買収、為資金ヲ

中央政府ニ請求中ナリト

二 市内動搖ヲ認メス

四月二十五日(月)正午天候曇然在七六九、五風向北東風力四

一 在泊艦船 動靜

一回〇〇 炎船口六三出港

二 在泊艦船、心極、逸仙、民生

三 訓練作業其、他 艦内倉庫彈藥庫武器点検、補習教育

四 情 况

市内情 况 变化ナシ

五 着 電

一、馬要機密五の番電 二十五日午前八時、八番馬要參謀長

北岡機密第二十一番電 李世甲、申出、次第モアリ此

際特ニ警告或シ嚴ニ在留民、言動ニ事 端 惹起

スルカ如キ事トキ様特ニ留意アリ度

二 馬要機密五の番電 二十五日午後三時、八番馬要參謀長

五月中 第二十五驅逐隊、行動概ネ左、如ク 示 定セ

一 極上旬福州 奔、廈門、汕頭經由中旬廣東着目未

途 同地 警 備

二 下旬 上 中旬 汕頭 警 備 下旬 馬 公

四月二十六日(火)正午天候晴 氣在七六七七氣温二。風向北東風力一

一 在海艦船 〆極、民生、逸仙

二 訓練作業其他 被服洗濯、補習教育

三 情况

市内情况变化ナシ

四 祭 受信ナシ

四月二十七日(水)正午天候曇 氣在七六四五氣温二四。五風向。風力。一

一 在相艦船 〆極、民生、逸仙

二 訓練作業其他 靖國神社臨時大祭、遷葬式休業

三 情况

第四項祭電、全シ

四 發電

極善三番電 福州情報(三十七日極)(宛馬要司令官)

一 「青年救國會」名ヲ以テ 対日経済絶交、宣言書ヲ

當地漢字新聞「朝報」ニ掲載セル者アリ二十六日

総領事ハカカル事ナキ様外交文書ヲ以テ注意

ヲ典ハシリ

二 目下、處市民ハ共産党軍侵入、懼ナント信シ

居ル模様ニテ 市内一般ニ動搖ヲ見ス

四月二十八日(木)正午 天候曇 気圧七六四・九 気温二六・三 風向東 風力四

一 在泊艦船 〆 樞 民生 逸仙

二 訓練作業其他

一四〇〇

天長節 儀禮ニ開シ 訪問使ヲ 民生ニ 敬遣ス  
天候險悪、急荒天 準備、至急点火出稼準備  
備ヲナス

三 情況

第四項 發電

四 發電

樞 普回 香電

福州情報(二十八日 樞)(宛馬要司令官)

一 二十七日午後八時頃 閩報(台島總督府経営)分館 倉備ニ 籍民青年 幾人

通行中 四名、支那青年ニ 暴行ヲ 加ヘシレ 右手ニ 輕傷ヲ 負ヘリ

三 右事件

及 昨報、抗日 新聞記事 等ハ 来ル 五月中、當地

方ニ 於ケル 抗日 策動、前報ト 互見 做シ 得ヘシ

三 福州城外 荅前ニ 駐屯セル 第二團、第三營(約三〇〇名)ハ 美

汽船 延登ニ 乗船 午後一時五十分 亞尾 齊一 廈門ニ 向ヘリ

四月二十九日(金)正午 天候曇 気圧七六二 気温二二 風向 風力〇・一

一 在泊艦船、動靜

一一〇〇 繳日入港

二 在泊艦船、心趣、民生、逸仙、繳日

三 訓練作業其地、天長節祝賀、節途、揮式、銃劍術、流技、休業

〇五〇〇 檢鋪ヲ行フ

〇八三〇 司令、總領事館ニ於ケル天長節祝賀會參列、

為出艦

司令、帶艦

一八〇〇

四 市內情況、變化ナシ

五 着電

四月二十九日、(華)月真指揮官)

本日、上海事件ニ關シ、高、總領事ヨリ省政府ニ本日

ハ持ニ警戒、ヲ嚴ニスル様申シ、出タリ

六 發電

極善五番電、福州情報(二十九日極)(宛馬要司令官)

一 本日帝國總領事館ニ於テ、陸鎮泳以下政府要人

及、各國領事等、約五十名ヲ招待シ、天長節、佳農

ヲ祝シ、祝盃ヲ舉ケタリ

二 南京出張中ナリシ省政府主席代理方聲濤、帰國ス



四月三十日(土) 正午天候曇 気圧七五・二 気程〇・二 風向南 風力一

- 一 在泊艦艇 〆極 逸仙、民生、磯日
- 二 訓練作業其他 靖國神社大祭 選擇式 休業

。九四五 天長節儀礼に關し謝礼、急務因使ヲ民生ニ服 遣ス

三 情 况

(1) 上海爆弾事件に關し方聲濤代理トシテ林知淵、總領

事館ヲ訪問見舞、辞ヲ述フル所アリ又福州市以

午後九時ヨリ特別戒嚴ヲ以テ整或ヲ嚴重ニセリ

(2) 夜間共產黨系ヲシキヤ中學生、女學生、一因域内ニ於

テ傳單ヲ散布シ保安隊ニ檢束セララル

五月一日(日) 正午天候曇 気圧七五・二 気程〇・二 風向北東 風力〇・一

- 一 在泊艦艇 〆極 逸仙、民生、磯日
- 二 訓練作業其他 〆〆ター、携帶競技、休業

三 情 况

省政ニ付、嚴重ナル監督ニ依リメーデー一遊行等、コトナク市

内平穩ナリ

四 着 電

(1) 北上機密ヲ番電一日午後一時 (奉北世艦長)

5

棧橋地月島及民会之保管シヤル本艦鉄條網陸上  
遺棄材料全部五月三日祭大球丸三送付方取計  
ヒリ得度

(四) 北上機察二十三番電一日午後八時

北上機察二十三番電中ニ民会ニ在ル本艦烹炊用釜  
及竈ヲ追加ス

五、發電

極善六番電福州情報(日極)(宛馬要司令官)  
「六」ニ対スル遊行等モトク市内平穩

五月二日(月)正午天候曇 气压七六一九 氣温二五、六 風向東 風力二

一、在泊艦艇、動靜  
一六〇〇 敵日出港

二、在泊艦艇 台極、逸仙、民生

三、訓練作業其他 今隊点檢、勅諭奉讀、配置教育、船体兵器手入

四、情況

市内情況 変化ナシ

五、祭壇復元ナシ

五月三日(火)正午天候曇 气压七六一 氣温二九、八 風向南 風力三

一、在泊艦艇、動靜  
〇九一〇 民生出港

五月四日(水)正午大候晴 氣在七立、三氣強、三風向南 風力二

一 在泊艦艇、効靜  
 〇七三〇 江元入港

二 在泊艦艇、効靜  
 〇九三〇 逸仙、江貞出港

三 訓練作業其他  
 〇八〇〇 江元ト訪問使交換  
 〇四〇〇 江元艦長未訪  
 〇四〇〇 司令江元答訪

四 情況  
 市内平穩異状ナシ

五 電  
 極善七番電 福州情報(三日極)の宛 匡要司令官  
 省政府、取締モアリ 五三 記念日 遊行等ナシ 市内平  
 穩ナリ

一五三〇 江貞(艦長中佐 王肇元)入港  
 二 在泊艦艇、効靜 逸仙、江貞  
 三 訓練作業其他 被服洗濯、配置教育、艇体兵器手入  
 一六〇〇 訪問使ヲ 江貞ニ 派遣ス

五

川市内平穩

(1) 総領事談ニ依レハ去ル一日方聲待ハ高義ニ対シ其、田部下ヲ正規軍トシテ新編スヘキ意向向ラ改メタルニ対シ高義ハ編成ニ要スル資金(額不明)武器彈薬等ヲ要求シタリト云フ

(2) 総領事談ニ依レハ恭隆率行(籍民経営)後産物抑留事件ニ關シ本日林知淵ヨリ賠償金トシテニ三百元程度ハ出シ得ヘタル余ノ事ニ關シテハ事件發生地、官憲ト直接交渉セラレ度旨申出マリト云フ

六

馬要機密七番電 四日午明上野(奉馬要參謀)

厦門附近ニ於テ共産軍活動、福州方面ニ對スル影響取調、上報告サレ度

極機密六番電 福州情報(四日極)(宛馬要司令官)

総領事談及省政府要人、言ナリト云フ并ニ綜合スルニ共産軍、状況注ニ福州ニ對スル影響在、如シ

一目下、厦市以ニ共産系分子滲入、形跡ナシ

ニ共産軍カ漳州、石碼ヲ占據後彼等ノ進撃、模標

ニ就テハ確報ヲ得サルモ其ノ勢力三千ヲ出テケルヘン  
 六 省政府當否及市民一級ハ共產軍ハ福州ニ進入ス  
 ルコト無カルヘシト觀測シ居ルモノ、如ク疑懼ノ念心  
 シテ抑キ居ラス

四 省政府ハ五十六師ヲ以テ共產軍討伐ニ當ラシメ現  
 ニ五十六師ノ任務タル西北地方ノ境防禦ハ江西省ニ取  
 遣中、十六師ヲ以テ之ニ當ラシムル様中央政府  
 ト了解済ナリト云フ又曩々中央政府ニ申請セル  
 ニテ師福建派遣ノ件ハ成立セザルモノ、如シ

五 張貞軍ハ無カニシテ省政府ニ於テ之ヲ頼ムニ足ラス  
 トナシ、相手ニセス

五月五日(木)正午 天候晴気圧七六三 気温三〇.五 風向南 風力二

- 一 在珀艦艇 心極 江元
- 二 訓練作業其他 補習教育 艇体兵器手入
- 三 情 况

(1) 三日公安各ハ各新聞社幹部ヲ召集シ上海爆彈事件  
 ニ關シテハ外支上ノ重大問題惹起、因トナル怖アルニ  
 付該事件ニ關スル宣傳的記事ハ記載セザル様  
 嚴達セリト  
 (2) 省政府ハ本月中、各新聞日ニ於テ民衆ノ集会遊行

等ヲ禁止セル由

(1) 其ノ他第ニ項ヲ示シテ市内情況変化ナシ

四 着 電

(1) 機密一ノ番電 五日午前九時(奉 馬要冬謀)

團長ハ近ク馬公帰一奉命セララルル事定トルカ同候

、石炭現有量至急通知サレ度

(2) 機密一三番電 五日午後四時(奉 馬要冬謀)

左部ノ通行動ヲ予定セララル

一 菱 六日(復門)奉 馬公着 八日(馬公)奉 八日(復門)着 同

日(馬)奉 二 向ヶ谷(奉) (本便ヲ補充交代ヲ行フ)

二 樞 月(馬)奉 土日(馬)公 二 向ヶ谷(馬)奉

(3) 團長機密七九番電 五日午後五時(奉 月島指揮官)

石炭現在高五十噸

(4) 機密一四番電 五日午後五時(奉 司令官)

菱ハ六日(復門)奉 馬公ニ帰一奉スヘシ

五 發 電

(1) 樞機密一三番電 五日午後五時(宛 團長指揮官)

石炭現有量至急知ラセ 貴機ハ近ク馬公へ帰一奉

命セララルル事定ナリ

(2) 樞機密一五番電 (五日午後九時)

8

(四)

川島行勅用燃料現在額石炭五十噸  
極普八番電福州情報ハ五百極(死馬要司令官)

一 本日當地海軍陸戰隊ニ營(約六七百名トラン)復門  
ニ向ケ輸送セリ指揮官黃懋和

ニ 本革命紀念日行事トシテ城內南較場ニ於テ革  
命政府紀念大会、催アリ未衆一千名午前十

三 昨四日市内要所ニ抗日傳單ヲ貼付セルモ、ア  
リ 總領事ハ之ニ對シ抗議シタルニ省政府ハ其

四 當地在泊軍艦ハ支那砲艦五元、ミエシテ約一週間在  
泊後上總ニ向ケ發シ、平定ナリ

五 總領事、談ニ依レハ元福州師長タリシ高儀、方  
聲、譚、ハ招来シ、福建省防共前敵總司令、名

六 以テ閩南上匪ヲ收編蓋七日馬尾發、復門ニ向  
ハシムト告之、要スル資金調達ハ相當ニ困難ナ

ルモ南洋華僑、復門在住民等ヨリ相等ノ據出シ  
期待シ得、兵力一旅(約千五百名)位ニハ達スルコト可

能ナルヘシトコトナリ但シ彈藥ハ在庫量僅小、為  
補充ニハ相當ノ困難ヲ予想シツツアリト

補充ニハ相當ノ困難ヲ予想シツツアリト

五月六日(金)正午曇、気圧七六八・二、気温二二・八、風向北東、風力三

一、在駒艦船、心極、正元

二、訓練作業其、他、補習教育、艦体兵器手入

三、情、况

(1) 昨日、五五紀念式、於于甘雲(省黨部宣傳部長)ハ吾人ハ故同一致シテ不平等條約、排除上意ニ在ル日本軍、撤退等、當ラザルヘカラスト抗日的演説ヲナセリト云フ、又抗日的意味シモ含ミタル傳單二、函刊一シ郵布セリ

四、發、電

(2) 市内情、况、変化ナシ

極普九番電、福州情報(六日極)ハ宛並要司令官

一、五日入港、大改商船開城丸、何役ニ從事、ル苦力頭

ニ宛、鉄血黨ト称スル排日團ヨリ脅迫状ヲ送付シ来

レリ、同船、荷役ハ滞リ無ク行ハレタルモ之ニ関シ、總領

事ヨリ、抗議的照会ニ対シ、省政府ハ私人、捜査

及今後ニ於ケル苦力頭、保護ニ付努力スル旨回答セ

リ

二、昨五五紀念日ニ際シ、中国国民党、福建省黨務指

導委員會宣傳部、ハ排日抗日愛國ヲ稱裁セル福



五月七日(土)正午天候晴気五七六五五気程ニ五風向東風力〇一

建函刊ヲ配布セリ又別ニ「抵抗暴日」ヲ舎ム抗日傳  
 單ニ種ヲ配布セルモノアリ 災領事ヨリ省政府ニ  
 對シ嚴重抗議スル事アリタリ

- 一 在泊艦船 々極、江元
- 二 訓練作業其他 被服洗濯、大掃除、防火教練、艦体兵器手入
- 三 情 况

- (1) 自砂大潮地方へ福州流約運支那商人ノ言ニ依レハ同地方ニ  
 警備セル省防軍ハ今尚日貨排斥ヲ續行シ之カ  
 為福州市ヨリ同地方へ運搬ノ日本海産物ハ全軍隊ノ  
 為ニ掠奪サレ運搬困難ナリト
  - (2) 大反商船荷役若ク頭ニ對スルカ脅迫状ノ件ニ付總  
 領事ヨリ省政府ニ對シ之カ保護法ノ具體的説明  
 ヲ要求セシニ省政府ノ回答左ノ如シ
  - (3) 馬尾要港司令及全浙水上公安局ヲ以テ日本船舶  
 荷役アル場合、保護ニ任スヘシ尚該若ク頭ノ住  
 居ニモ警告戒保護スヘシ
  - (4) 市内情況平穩ニシテ変化ナシ
- 四 着 電
- (1) 馬尾機密一六番電 七日午前十時(蔡馬要司令官)

菱ハ明八日發厦門經由馬尾ニ回航シ福州、教言備ニ任ス。

(四) 馬要機密一七番電七日午前十時(發馬要冬謀)

宛第二十五驅逐隊司令

機密一六番電ニ依リ日島護衛中一單往航行差

支ナキ場合極ハ馬公爺港ヲ取止メ厦門汕頭

經由來ル十七、八日頃マテニ廣東ニ回航セシメラ

ルル豫定

五月八日(日)正午天候晴気在七六、五気強ニ八五風向南風力ニ

一 在砲艦船 極、江元

二 訓練作業其他 休業

三 情况

四 第四項發電ニ全シ

極善一。

番電福州情報(八日極)(宛馬要司令官)

本日陳國輝飛行機ヲ泉州ヨリ福州ニ飛來セシ由

軍次員金翔達、為ナラント、コト

五月九日(月)正午天候曇気在七六三気強ニ二五風向南東風力一

一 在砲艦船 極、江元

二 訓練作業其他 精神講話、配置教育、船体兵器手入